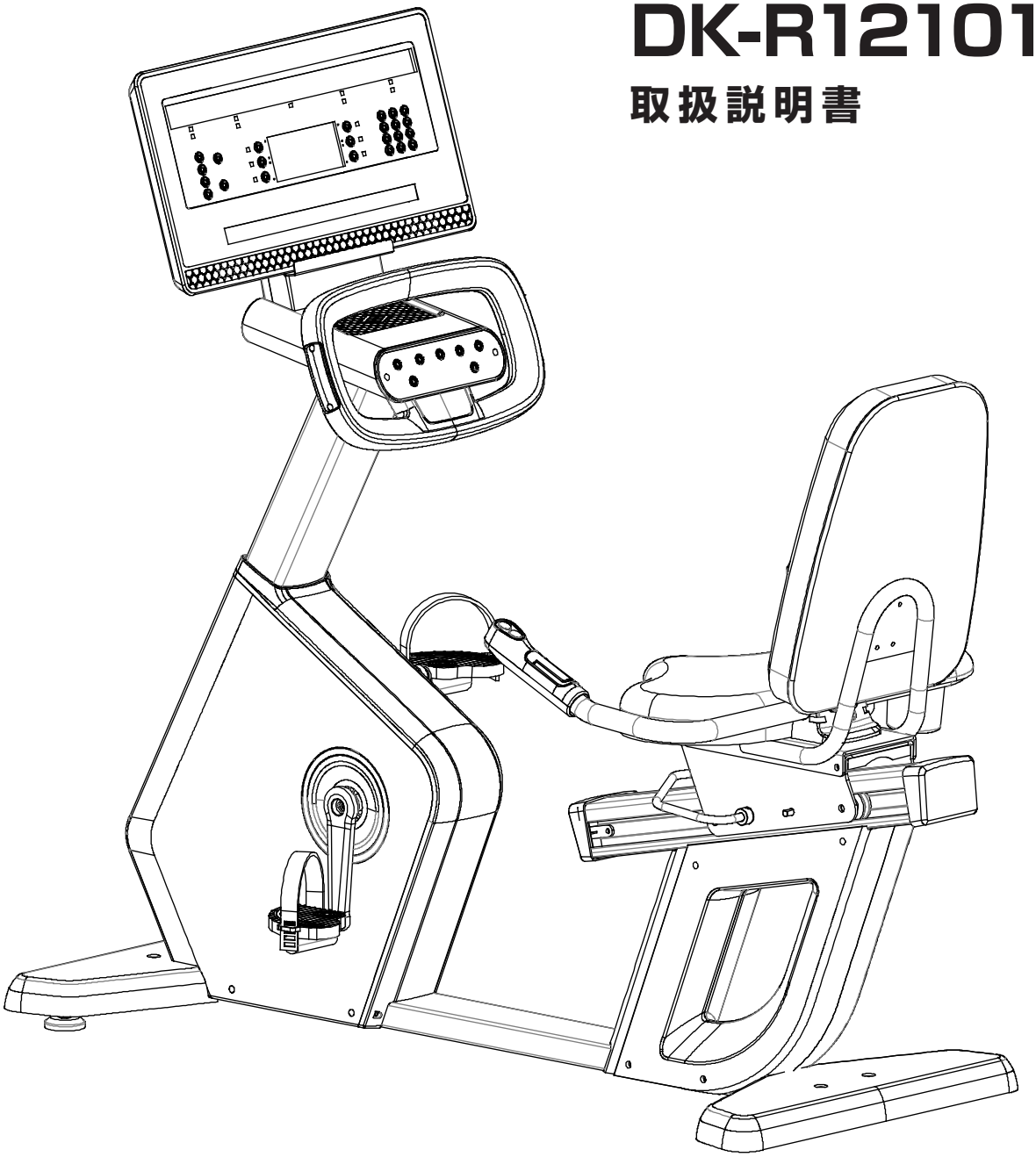
DAIKOU

リカンベントバイク（業務用）

DK-R12101

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください

このたびはリカンベントバイク（業務用）DK-R12101 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

◎ まず、**本説明書を最後までお読みください。運動器具は一般的な家電と違い、人の体重や大きな力が掛かる器具の為、若干のメンテナンスを必要とします。本説明書の内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。**

◎ 本書の巻末に保証書がついていますので、**配送業者の送り状伝票**とともに大切に保管して下さい。

◎ 本機は業務用です。利用目的は保証内容に影響しますので、予め用途をご確認くださいますようお願い申し上げます。

◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承下さい。

安全上の注意

取扱説明書の「注意」及び「警告」の内容は、危険のレベルによって2段階に別れています。記載の内容をご理解いただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠警 告

誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容

⚠注 意

誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容

⚠警 告

1) 機器を組み立てて使用する前に、取扱説明書の内容をすべてお読みいただくことをお願い致します。機器を正しく設置し、維持し、使用するだけで、安全にトレーニング効果が得られます。

2) 使用者が投薬を受けており、治療や心拍数、血圧、およびコレステロールレベルに影響を与える場合、健康や安全性に基づいて医師に相談してから運動を行って下さい。

3) 一般的なトレーニングの際に頭痛、胸の圧迫感、不整脈、息切れ、眩暈（めまい）、吐き気の傾向がある方は、事前に体調ならびに機器の状態を 医師へ相談のもと、トレーニングを続けるのに障害がないことを確認した場合にのみご利用下さい。

4) 無理をせず、軽い負荷から開始して下さい。急激な運動は体に負担を与えますので、少しでも異常を感じたら運動を中止して医師にご相談下さい。

5) お子様が本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて下さい。

6) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方など（心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人工心肺装着の方等々 がご使用の場合、かかりつけの医師にご相談下さい。

7) 機器を平らな場所に置いて使用し、床やカーペットの表面の損傷を防ぐために保護マットを敷いて下さい。安全のために、訓練機器と障害物の距離は 0.5 メートル以上離して下さい。

8) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、ネジ・ボルト等の緩みがないか、使用前に点検して下さい。

9) 本機を分解・改造しないで下さい。内部点検や修理をする際には当社までご相談下さい。同時に組み立てやメンテナンスのプロセスでノイズが聞こえた場合、また欠陥部品を見つけた場合は当社までご連絡下さい。

10) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなり且つ安全性 を損ないケガをする場合があります。

11) 同時に2人以上で乗らないで下さい。人間以外の動物・物を載せないで下さい。

12) ジェネレーターを使用しているためノイズが発生することがございますので、ご了承ください。

電気器具の警告事項

蓄電池保護のため 300 分以上の連続使用はおやめ下さい。万一、異常な音、におい、煙が出たときには、販売店もしくは当社までご連絡下さい。（最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。）

使用上の注意事項

⚠ 注 意

1) トレーニングの前後にストレッチ(準備体操)を行ってください。(トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行う習慣をつけましょう。
2) 食後のトレーニングは差し控えてください。(本来胃に流れるべき血液が流れにくくなり、消化に影響を与えます) 食後2時間位あけてトレーニングをしてください。
3) 本機ご使用の時は運動靴を履き、駆動部に巻き込まれる恐れのない (紐等のない) 服装でご使用ください。
4) 正しい使用方法以外でトレーニングはおやめください。
5) 本機は業務用のトレーニング機器として開発しています。それ以外の用途で使用なさらないでください。
6) 異物を製品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります。
7) 体重 150Kg を超える方はご使用にならないでください。

保管上の注意事項

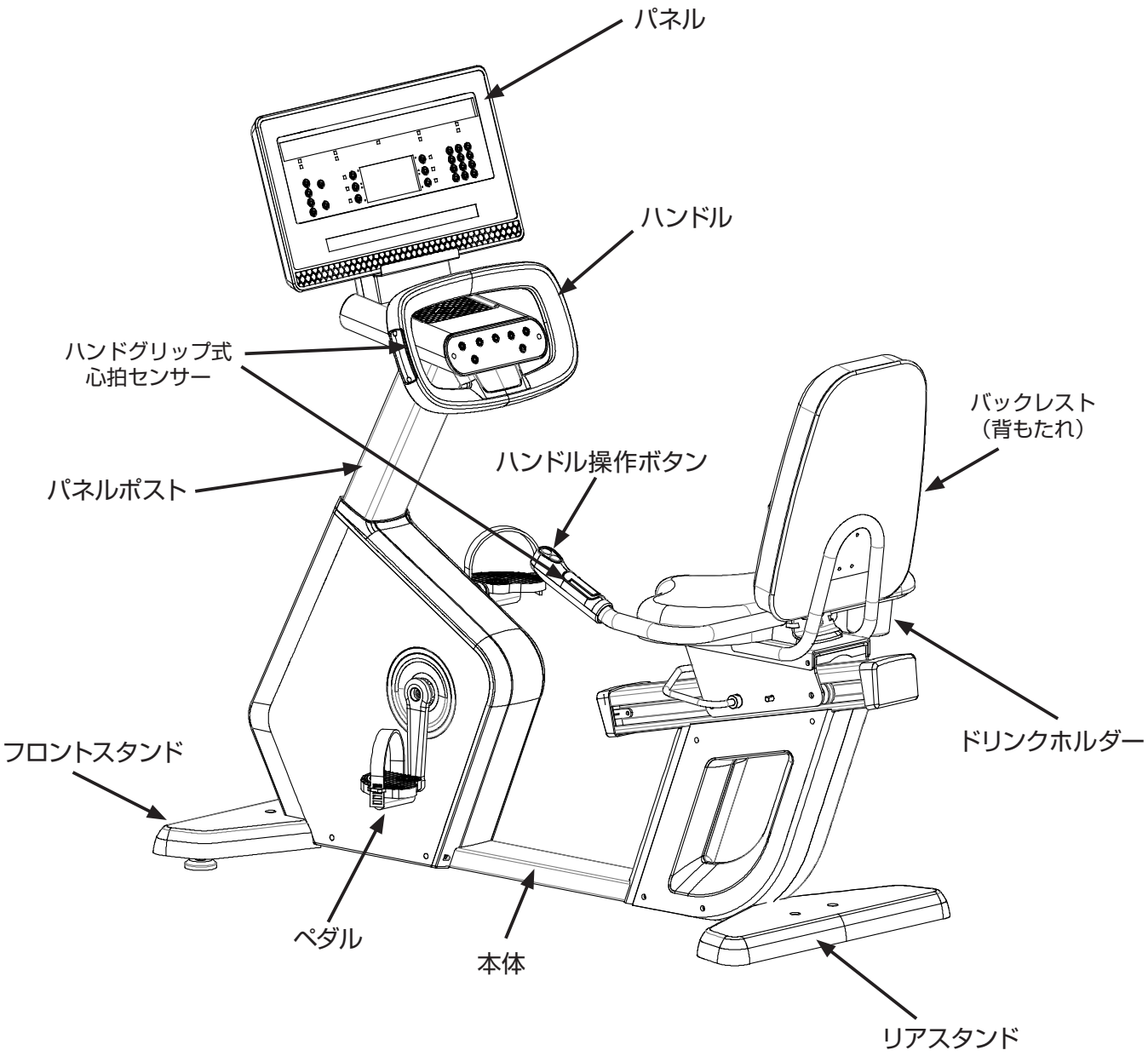
⚠ 注 意

1) 幼児が触らないよう安全に管理してください。
2) ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認してください。
3) 使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置してください。
4) 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、整理整頓してからご使用ください。
5) 組立ての際に、床を傷つける場合があります。布やカーペットなどを敷くなど、養生で床を保護してください。
6) 本機ご使用にあたっては、床保護を目的にマットの使用をお薦めします。
7) 本機を廃棄する場合は、各自治体の推奨する方法に従って処理してください。
8) 次の場所に設置、保管しないでください。(サビの発生、負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となります)
   - 直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
   - 屋外 (屋根付きのガレージ等を含む) の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
   - 磁気や電気的雑音の発生しやすいものの近く
   - 室温差が著しく変化するところや床面がコンクリートの打ちっ放しのところ (本機の下だけにマットを敷いている場合も含みます。)

仕様

品名	リカンベントバイク	連続使用時間 (分)	300
品番	DK-R12101	体重制限 (kg)	150
材質	スチールパイプ・ウレタン・ABS 樹脂	製造国	中国
負荷調整	電動式 (32 段階)	電源方式	自己発電方式
使用用途	業務用	本体サイズ (cm)	W72 × L165 × H152
製品重量 (kg)	91	梱包サイズ (cm)	W38 × L174 × H78 / 116kg

各部名称



※アジャスターはフロントスタンド、リアスタンド下にあり、回転させることにより段差を調整することが可能です。

⚠ 心拍測定のご注意

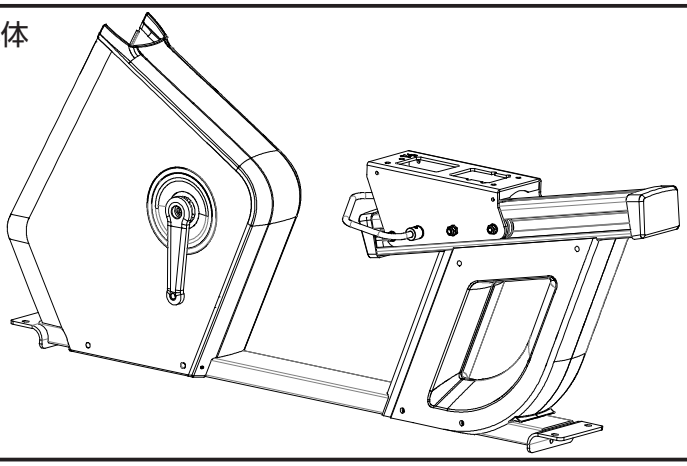
※ 測定値に関しましては簡易的に計測しておりますので、実際の数値とは誤差がございます。目安として参考程度にご利用ください。

※ 測定値を医療処置の根拠とみなす事は出来ません。

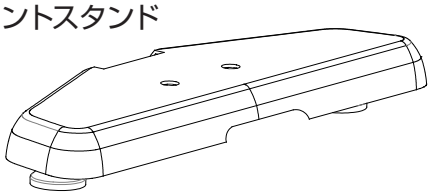
※ あくまでも簡易測定であることをご理解願います。様々な要素に影響を受ける為、不正確な数値が表示される場合がございます。正確な測定をお望みの場合はお客様にて別途専用器具をご用意いただき、測定をお願いいたします。

主要なパーツ

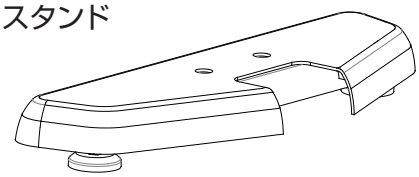
本体



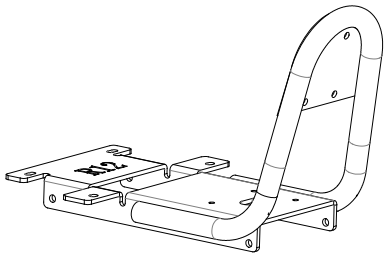
フロントスタンド



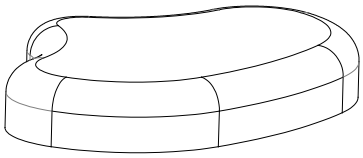
リアスタンド



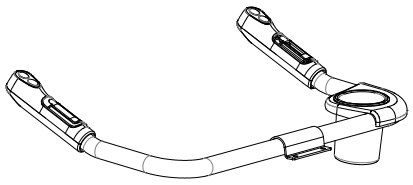
シートフレーム



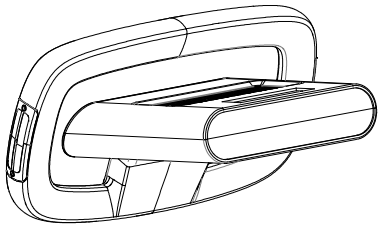
サドル



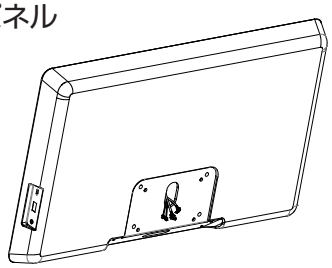
サドルハンドル



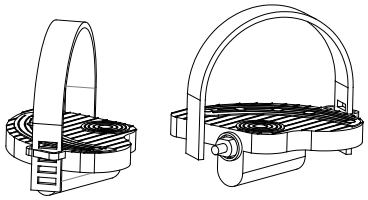
ハンドル



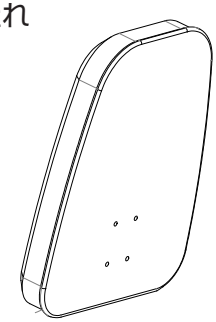
パネル



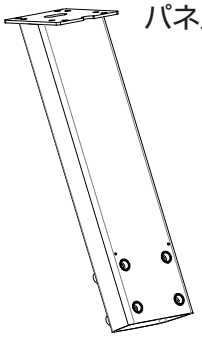
左右ペダル



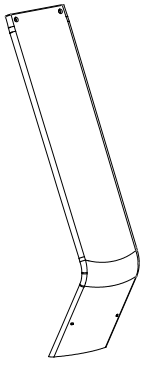
背もたれ



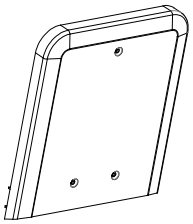
パネルポスト



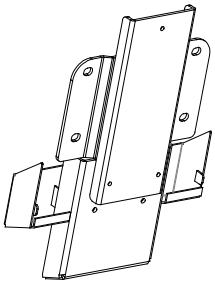
パネルポスト
カバー



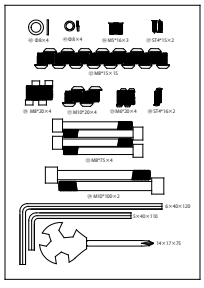
パネルスタンドカバー



パネルスタンド

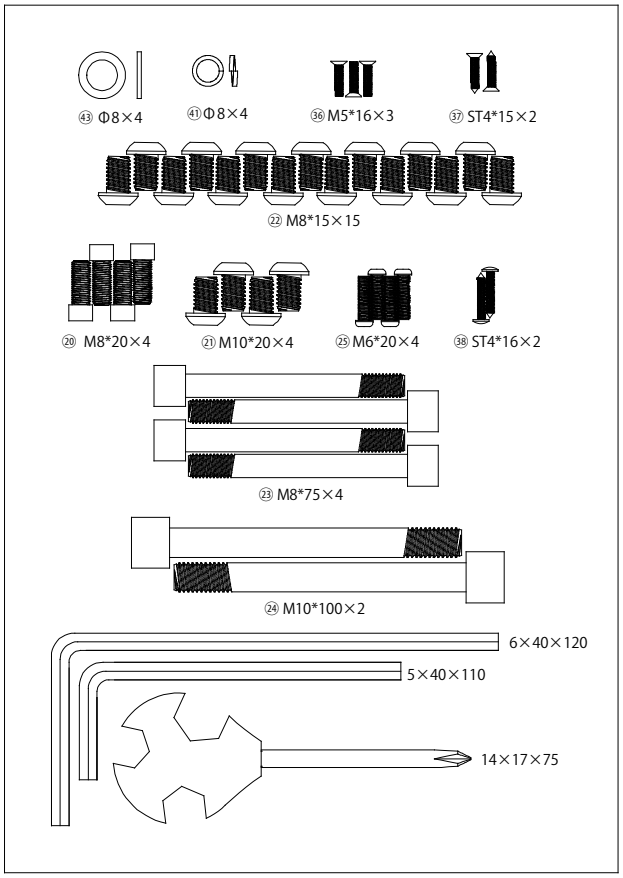


ツールパック



取扱説明書

ツールパックリスト



番号	名称	規格	数量
⑳	ボルト	M8 × 20	4
㉑	ボルト	M10 × 20	4
㉒	ボルト	M8 × 15	15
㉓	ボルト	M8 × 75	4
㉔	ボルト	M10 × 100 × 50	2
㉕	ボルト	M6 × 20	4
㊱	ネジ	M5 × 16	3
㊲	ネジ	ST4 × 15	2
㊳	ネジ	ST4 × 16	2
㊶	バネワッシャー	Φ 8	4
㊸	平ワッシャー	Φ 8	4
	L 形六角レンチ	5 × 40 × 110	1
	L 形六角レンチ	6 × 40 × 120	1
	ドライバー付きスパナ	14 × 17 × 75	1

組立手順

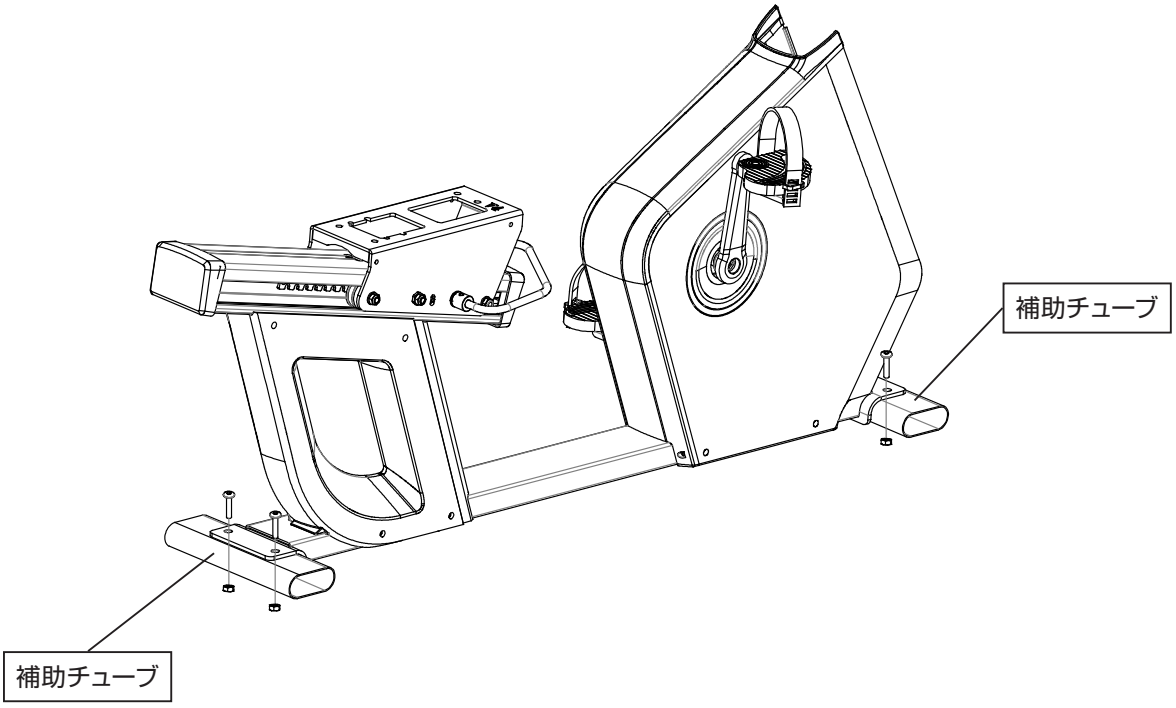
■組立を始める前のご注意

- 作業をする前に、部品と必要な道具が全部揃っているかを確認して下さい（**本体などに仮止めしている場合もございます。**ご注意下さい。）
  - ▶ 開梱及び組立時は、必ず大人 2 名以上で行って下さい。
  - ▶ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- 本機を箱から出す場合、天地（上下）に注意して開梱し本体が床面と水平になる状態で組立を行って下さい。
- 組立時、**ボルトは仮締めにして、全体が組み上がってから増し締め**してください。
- Step 1から順番に組み立てて下さい。各パーツに、ボルト類が仮止めされている場合がある為です。尚、出荷時点で仮止めしたボルト類が、欠落しているケースが散見されます。梱包の内側もご確認下さいますようお願い致します。
- 本体に仮止めしてあるネジ類を外す必要がある場合は、その部位の作業工程の直前に外して下さい。先に外してしまうと、どの部分のネジなのか判別がつきにくい場合がありますのでご注意下さい。

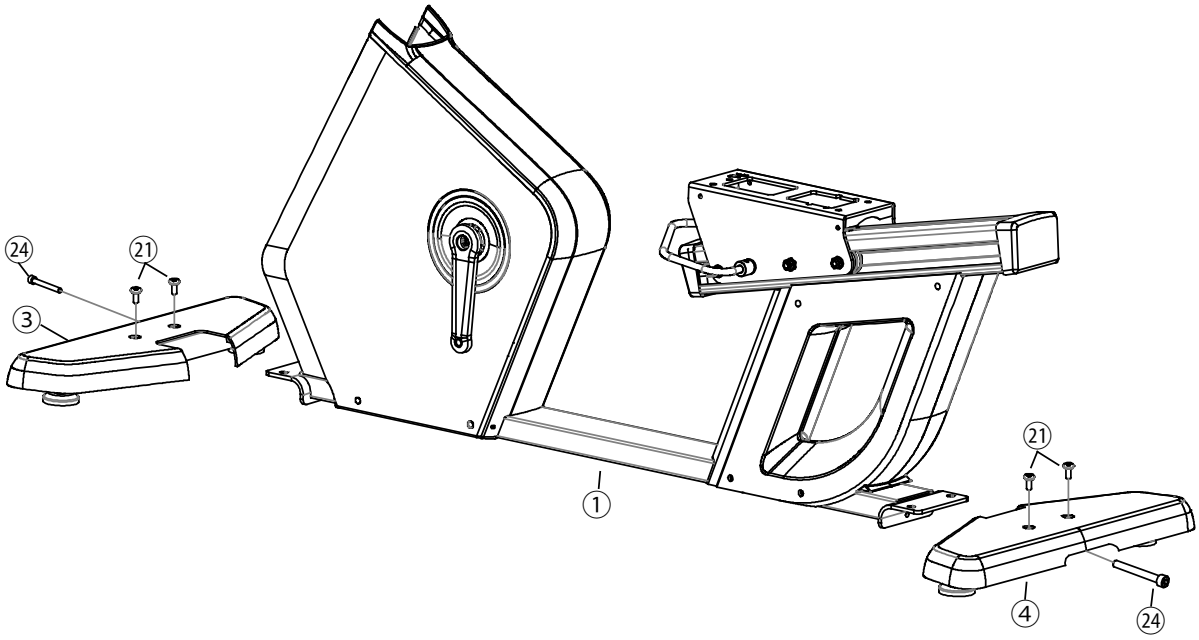
組立手順

Step 1

前部および後部の保護用補助チューブを取り外します。



本体①にフロントスタンド③とリアスタンド④をボルト㉑とボルト㉔で固定します。



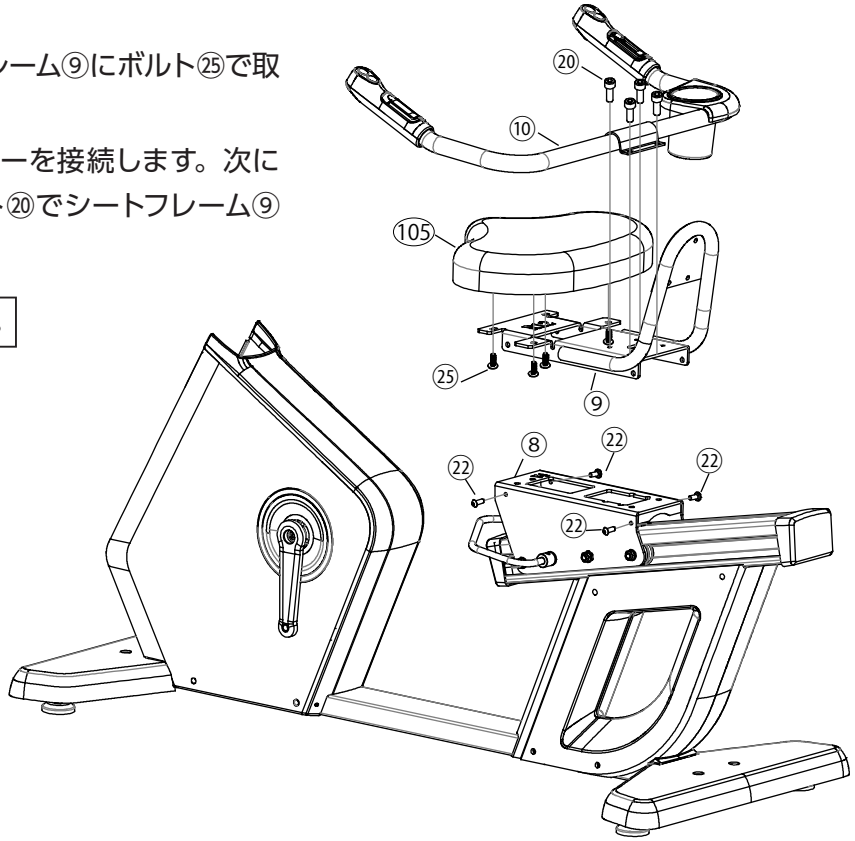
※ボルトは仮締めにして下さい。

組立手順

Step 2

1. シートフレーム⑨をシートスライド装置⑧にボルト㉒で取り付けます。
2. シート（105）をシートフレーム⑨にボルト㉕で取り付けます。
3. サドルハンドルのコネクターを接続します。次にサドルハンドル⑩をボルト⑳でシートフレーム⑨に取り付けます。

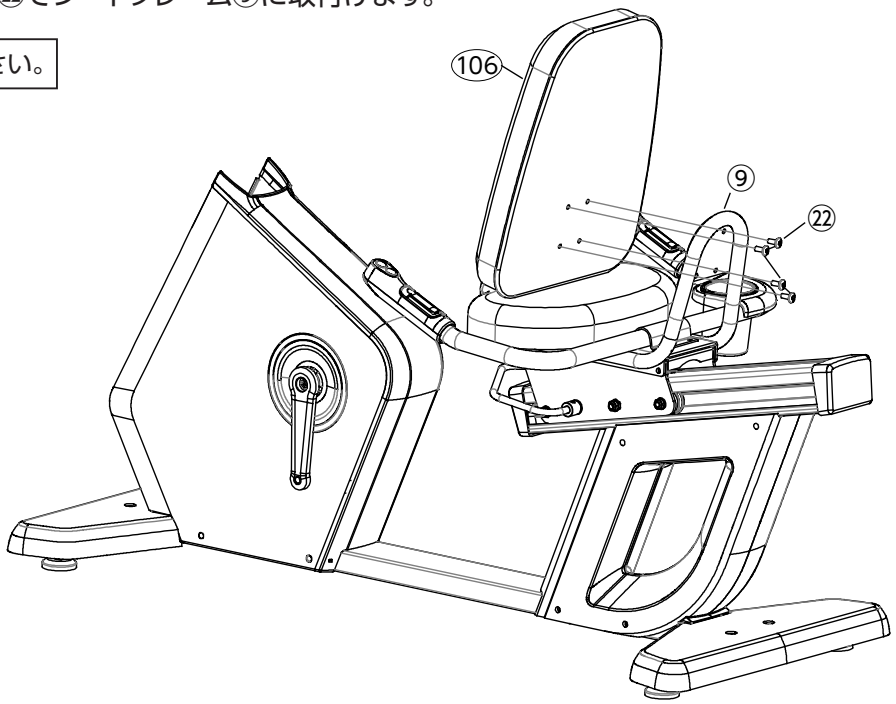
※ボルトは仮締めにして下さい。



Step 3

背もたれ（106）をボルト㉒でシートフレーム⑨に取付けます。

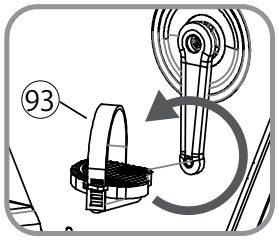
※ボルトは仮締めにして下さい。

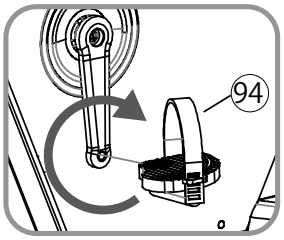


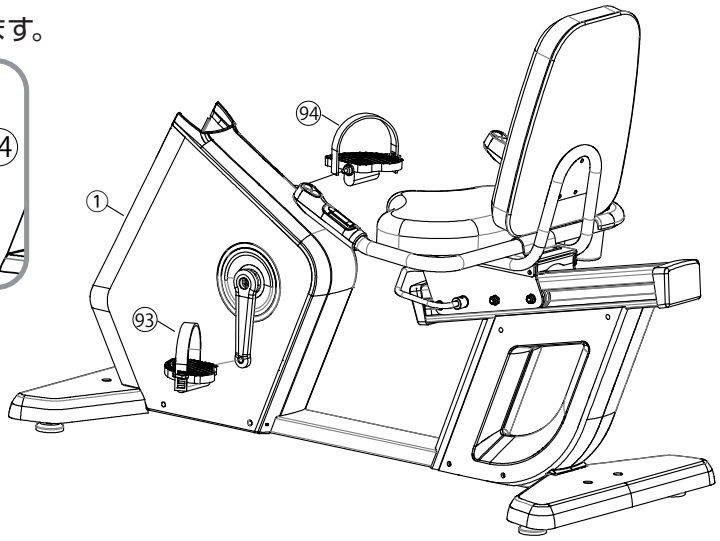
組立手順

Step 4

左右ペダル(93) (94) を本体①に取り付けます。







1. 左ペダル (93) を固定する場合際は**反時計回り (左回り)** に回して固定します。
2. 右ペダル (94) を固定する場合際は**時計回り (右回り)** に回して固定します。

⚠ 注 意

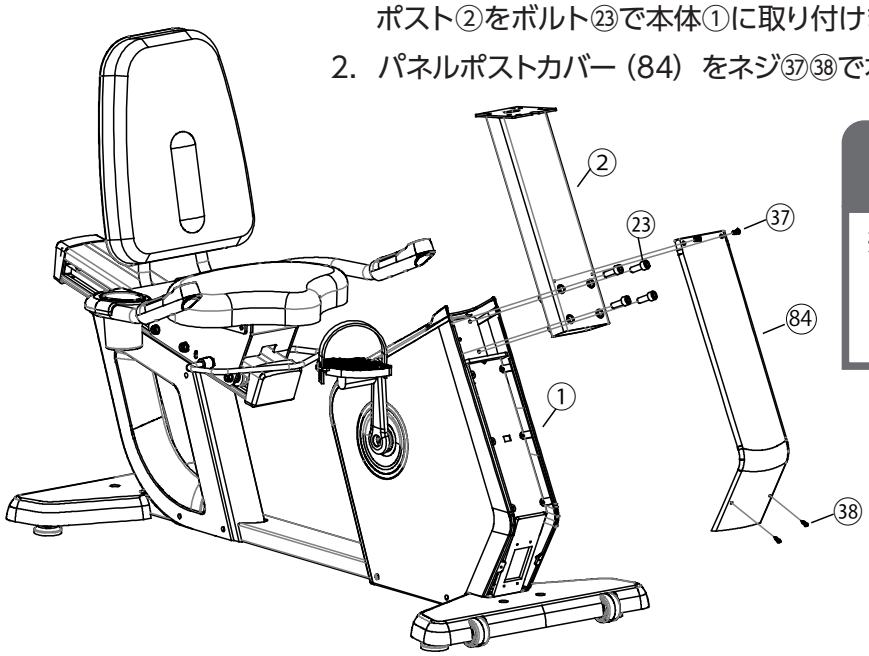
●クランク及びペダルにはL(左)･R(右)の印があります。**必ず印を確認し、同じ印同士**で取り付けて下さい。**取り付けるペダルを間違えるとネジ山が潰れてしまいます**ので、部品の左右取り付け間違いに充分ご注意ください。

●左右のペダルで取り付ける際の回転方向が異なります。ペダルを間違えた回転方向に締め込むとネジ穴が潰れてしまいますので、部品の締め込み方向間違いに充分ご注意ください。

●ペダルは**最後に増し締め**することで適正に固定されます。締めが不足していると異音の原因になります。

Step 5

1. 本体①に一時的に取り付けられているパネルポストカバー (84) を取り外します。次に、通信コードコネクターを接続します。続いて、パネルポスト②をボルト㉓で本体①に取り付けます。
2. パネルポストカバー (84) をネジ㊲㊳で本体①に再度取り付けます。



⚠ 注 意

※各パーツに配線を挟むなどして断線しないようご注意ください。

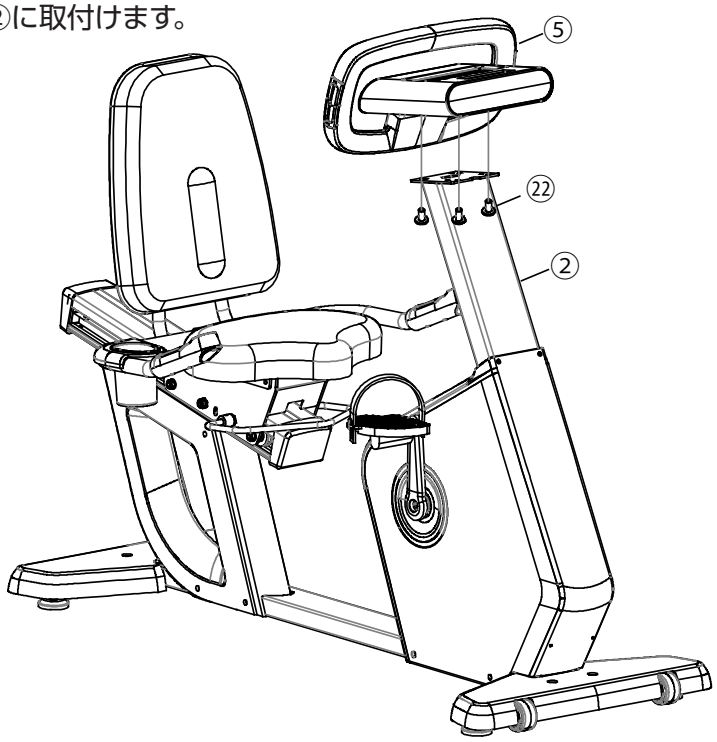
※ボルトは仮締めにして下さい。

組立手順

Step 6

ハンドル⑤をボルト㉒でパネルポスト②に取付けます。

※ボルトは仮締めにして下さい。

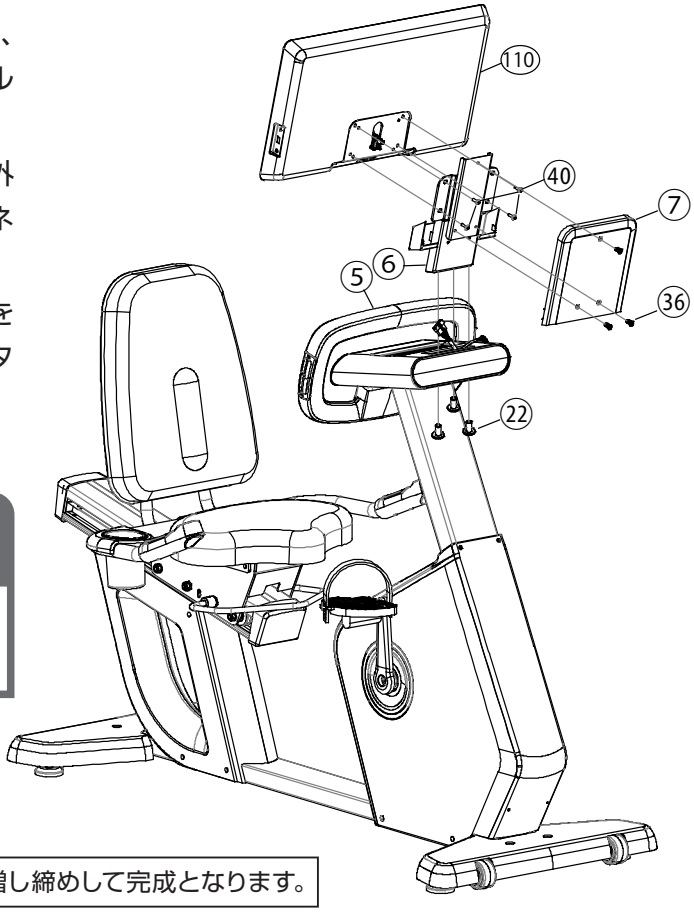


Step 7

1. 通信コードをパネルスタンド⑥に通し、ボルト㉒でパネルスタンド⑥をハンドル⑤に取り付けます。
2. パネル（110）に仮止めたネジ㊵を取り外して、このネジにてパネル（110）をパネルスタンド⑥に取り付けます。
3. パネル（110）の通信コードコネクターを接続し、パネルスタンド⑥にパネルスタンドカバー⑦をネジ㊱で取り付けます。

⚠ 注 意

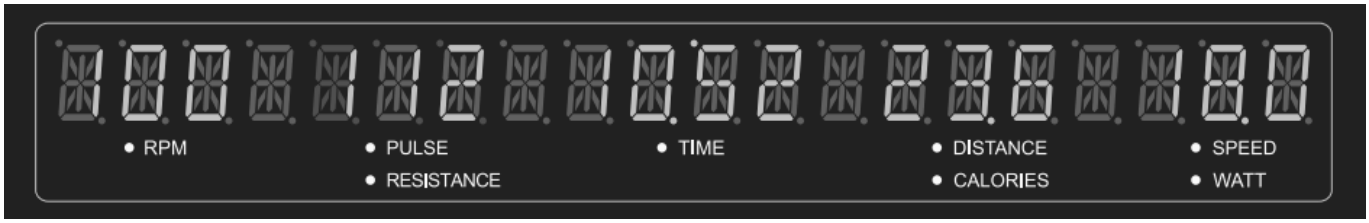
※各パーツに配線を挟むなどして断線しないようご注意ください。



※Step1～7まで仮締めにしたボルトを全て増し締めして完成となります。

操作パネルについて

ディスプレイに表示される各データの見方と設定範囲です。



● TIME（時間）

運動中の経過時間、または設定した時間のカウントダウンを表示します。

表示範囲：　00:00 ～ 99:59（分：秒）

設定範囲：　10:00 ～ 99:00（各プログラムの初期値：24:00）

● DISTANCE（距離）

運動した累積距離を表示します。

表示範囲：　0.0 ～ 99.9 km

設定範囲：　0.0 ～ 99.9 km（マニュアルモードの初期値：5.0 km）

● CALORIE（カロリー）

運動中に消費したカロリーの目安を表示します。

表示範囲：　0 ～ 999 Kcal

設定範囲：　0 ～ 999 Kcal（マニュアルモードの初期値：200 Kcal、10 単位で調整可）

● SPEED（速度）

現在の運動速度を表示します。

表示範囲：　0.0 ～ 99.9 KPH（km/h）または MPH

● RESISTANCE LEVEL（負荷レベル）

現在のペダルの重さ（負荷）を表示します。

設定範囲：　1（最小）～ 40（最大）

● WATT（ワット数）

現在の運動強度（回転数と負荷レベルに応じた算出値）を表示します。

● PULSE（心拍数）

ハンドグリップ式センサーから検出された心拍数を表示します（簡易測定）。検出されない場合は「0」が表示されます。

●ユーザー情報（プロフィール設定）

WEIGHT（体重）：設定範囲 30 ～ 150 KG（初期値：70 KG）

HEIGHT（身長）：設定範囲 90 ～ 210 CM（初期値：170 CM）

AGE（年齢）：　設定範囲 10 ～ 99 歳（初期値：30 歳）

T.H.R（目標心拍数）：心拍数トレーニング時のターゲット値。年齢に応じて自動計算されます。

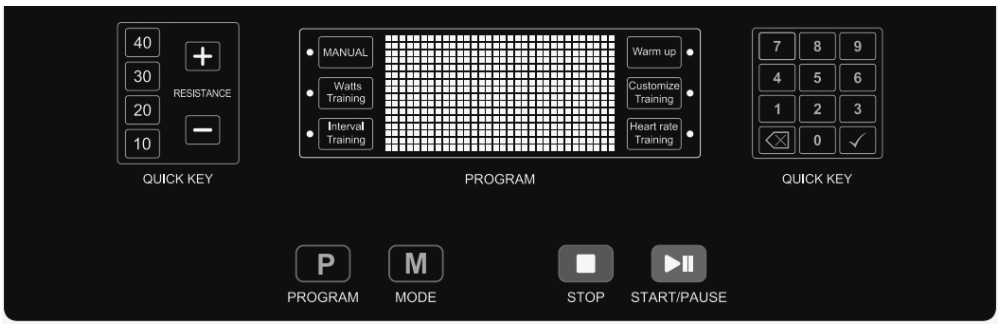
- ■ HRC1（最大心拍数の 60%）初期値：114
- ■ HRC2（最大心拍数の 70%）初期値：133
- ■ HRC3（最大心拍数の 80%）初期値：152

⚠ 注 意

※長い期間ご使用にならない場合には、内蔵されている充電池が放電しているためパネル操作ができないことがございます。その場合には、ある程度本体で運動することにより電池が充電され、パネル操作が可能になります。

操作パネル／ボタンの説明

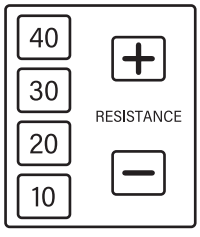
パネル内のボタン



ハンドル部のボタン

M	**MODE ボタン** ・待機状態で押すと、データ設定画面に入ります ・運動中に押すことで、データを切り替えることができます。（例：負荷→パルス→スキャン） ・エクササイズモードでは、押すことで手動でエクササイズ情報を切り替えることができます。	▶II	**START/PAUSE ボタン** ・運動開始と一時停止 ・待機状態で押すとクイックスタートで起動します ・運動中に押すと、一時停止になります ・一時停止モードから 30 秒以内に再度押すと、運動実行のモードに戻ります
P	**PROGRAM ボタン** ・押すたびに内蔵プログラム（P01 ～ P12）、ユーザーカスタム（U01 ～ U04）、心拍（H01 ～ H03）を順番に選択できます。	■	**STOP ボタン** ・データ設定中に押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。 ・一時停止中に押すと、運動を終了して通常画面に戻ります。 ・プログラム設定中に長押しすると、設定内容がリセットされます。
MANUAL	**MANUAL ボタン** ・自分で目標数値を決めて運動する「マニュアルモード」を選択します	Warm up	**Warm up ボタン** ・負荷が比較的低いウォーミングアップ運動に適したコース（P1 ～ P3）をすぐに選択できます
Watts Training	**Watts Training ボタン** ・目標ワット数に合わせて運動する「ワットトレーニングモード」を選択します	Customize Training	**Customize Training ボタン** ・自分でオリジナルの負荷コースを作成する「カスタマイズトレーニングモード」を選択します
Interval Training	**Interval Training ボタン** ・高負荷と低負荷を交互に繰り返す「インターバルトレーニングモード」を選択します	Heart rate Training	**Heart Rate Training ボタン** ・目標心拍数に合わせて運動する「心拍数トレーニングモード」を選択します
♡	**RECOVERY ボタン** ・運動終了後、1 分間でどれだけ心拍数が回復したかを測定する「リカバリー機能」を起動・終了します		

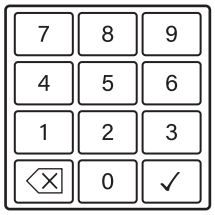
QUICK KEY：RESISTANCE（負荷）



QUICK KEY

＋／－	・データを設定時：数値を増減させます（1 秒以上長押しすると高速で連続変化します） ・運動時：1 回押すと負荷を 1 単位ずつ増減させます
[10][20][30][40]	負荷ワンタッチボタン作動中に数字をタッチすることにより、数字の負荷に変化します

QUICK KEY（テンキー）：整数入力のみが許可されます



QUICK KEY

0 ～ 9	・数字を選択すると、対応するウィンドウに入力された値が表示されます。✓ キーを押して確定してください。値を入力してから 3 秒間操作しないと元の値に戻ります。 ・10 以降の場合：2 桁の数字を選択し、✓ キーを押して確定します。
✓	・テンキーで入力した数値を確定します。 ・入力値が有効範囲内であれば「ピー」と鳴って反映され、範囲外の場合は「ピピッ」と 2 回鳴って元の数値に戻ります。
⌫	・値を入力した後、このボタンを押すと入力した値を取り消すことができます。このボタンは、値の入力を取り消す場合にのみ使用できます

全プログラム共通の基本仕様

各プログラムを操作する際の、共通の動作と画面表示です。

●基本設定の進め方：

MODE ボタンで設定項目（年齢・体重・時間など）を切り替え、負荷 +/ − または テンキー (0-9) で数値を変更します。

●プログラムの開始・終了：

START/PAUSE ボタンで開始します。設定した時間（または距離･カロリー）のカウントダウンが「0」になると、ブザーが 3 回鳴り、負荷が最低レベルに戻って自動停止します。

●一時停止：

運動中に START/PAUSE ボタンを押すと一時停止（画面に「PAUSE」表示、負荷は最低に）し、30 秒以内に再プッシュすると再開します。STOP ボタンを押すと通常画面に戻ります。

●運動中の自動切り替え：

運動中は、画面のデータ（負荷、心拍数など）が 5 秒ごとに自動で切り替わります。

各プログラムの設定と操作手順

1. QUICK START（クイックスタート）

事前設定をせず、すぐに運動を開始するモードです。

●手順： 待機状態で START/PAUSE ボタンを押すと、即座にスタートします。

●特徴： 時間などのデータは 0 からカウントアップされ、負荷レベル「1」から始まります。

2. MANUAL（マニュアルモード）

自分で目標数値を設定して運動するモードです。

●手順： 1. MANUAL ボタンを押します。

2. MODE ボタンを押すたびに、「年齢」→「体重」→「時間」→「距離」→「カロリー」の順に点滅します。数値を調整してください。

3. 設定完了後、START/PAUSE ボタンで開始します。

●特徴： 時間、距離、カロリーは同時に設定可能です（いずれかが 0 になると終了）。設定しない場合はカウントアップされます。運動中の負荷調整は、全体の負荷プロファイルに反映されます。

3. PROGRAM（内蔵プログラム：P01 ～ P12）

あらかじめ用意された 12 種類の負荷コース（32 段階構成）から選ぶモードです。

●手順： 1. “P” ボタンを押し、P01 ～ P12 から好みのコースを選択します。

2. MODE ボタンを押し、「年齢」→「体重」→「時間」を順に設定します。

3. START/PAUSE ボタンで開始します。

●特徴： 各セクションの運動時間は「設定時間 ÷ 32」で計算され、次のセクションに進む際に「ピー」と 3 回鳴ります。

各プログラムの設定と操作手順

4. Watts Training（ワット固定トレーニング）

ペダルを漕ぐ速度に合わせて、目標ワット数（運動強度）を一定に保つよう負荷が自動調整されるモードです。

●手順：
1. Watts Training ボタンを押します。
2. MODE ボタンを押し、「年齢」→「体重」→「時間」→「WATT（目標ワット数：初期値 125)」を順に設定します。
3. START/PAUSE ボタンで開始します。

●特徴：設定した目標ワット数を維持できるよう、マシン側が負荷レベルを自動的にセグメント調整します。

5. Interval Training（インターバルトレーニング）

高負荷と低負荷を交互に繰り返すトレーニングモードです。

●手順：
1. Interval Training ボタンを押します。
2. MODE ボタンを押し、「年齢」→「体重」→「時間」→「距離」→「カロリー」を順に設定します。
3. START/PAUSE ボタンで開始します。

6. Warm up（ウォームアップ）

運動前のウォーミングアップに適した、負荷の低いモードです。

●手順：待機状態で Warm up ボタンを押すと、内蔵プログラムの P1、P2、P3 のいずれか（負荷が比較的低いコース）にすぐアクセスできます。時間を設定して START/PAUSE ボタンで開始します。

7. Customize Training（ユーザーカスタム：U01 ～ U04）

全 32 セクションの負荷レベルを、ユーザー自身で 1 つずつ自由に作成・保存できるモードです（全 4 パターン）。

●手順：
1. Customize Training ボタンを押します。
2. MODE ボタンを押し、「年齢」→「体重」→「時間」を設定します。
3. 続いて負荷設定に入ります。画面に「1」が表示されるので、第 1 セクションの負荷レベルを設定して MODE で確定。これを 32 セクション分繰り返します。
4. すべて入力したら START/PAUSE ボタンで開始します。

各プログラムの設定と操作手順

8. Heart Rate Training（心拍数コントロール：H01 ～ H03）

目標心拍数を維持できるように、実際の心拍数に合わせて負荷が自動増減するモードです。

●目標心拍数の基準（自動計算）：

HRC1	最大心拍数の 60% (220 − 年齢) × 0.6	（初期値 : 114）
HRC2	最大心拍数の 70% (220 − 年齢) × 0.7	（初期値 : 133）
HRC3	最大心拍数の 80% (220 − 年齢) × 0.8	（初期値 : 152）

●手順： 1. Heart Rate Training ボタンを押します。

2. MODE ボタンを押し、「年齢」→「体重」→「時間」→「THR（目標心拍数）」を順に設定します（THR は基準値の± 5 の範囲で微調整可能）。

3. START/PAUSE ボタンで開始します。必ずハンドルの心拍センサーを握って運動してください。

●負荷の自動判定ルール（30 秒ごとに見直し）：

目標より 25 以上低い場合	一気に 3 レベル上昇
目標より 15 ～ 24 低い場合	2 レベル上昇
目標より 5 ～ 14 低い場合	1 レベル上昇
目標の前後 5 以内（安定）	レベル変更なし
目標より 5 ～ 14 高い場合	1 レベル下降
目標より 15 以上高い場合	2 レベル下降

※ 15 秒以上心拍が検出されない（画面に「P」表示）場合、10 秒ごとに負荷が 1 ずつ下がり、最低レベルに達すると強制終了します。

9. RECOVERY（心拍回復度テスト）

運動終了後の心拍数の戻り具合から、現在の心肺機能・回復能力を F1 ～ F6 の 6 段階で評価するテストです。

●手順： 1. 運動中、または終了直後に RECOVERY ボタンを押し、すぐにハンドルの心拍センサーを両手で握ります。

2. まず 10 秒間の検出が始まります（画面に「TESTING」表示、10 秒カウントダウン）。

3. 心拍が検出されると、1 分間の測定モード（画面に「RECOVERY」表示、0:60 からカウントダウン）が開始されます。

4. 測定終了後、画面に結果（F1 ～ F6）が表示されます。

●判定基準：

測定開始時の心拍数（P0）と、1 分後終了時の心拍数（P1）の差（P = P0 − P1）で判定します。

回復した心拍数（P）	判定コード	評価
50 以上	F1	非常に優秀 (EXCELLENT)
40 ～ 49	F2	優秀 (VERY GOOD)
30 ～ 39	F3	良い (GOOD)
20 ～ 29	F4	普通 (SATISFACTORY)
10 ～ 19	F5	やや悪い (POOR)
10 未満	F6	悪い (VERY POOR)

※ 10 秒の検出中、または 1 分間の測定中に一定時間（6 秒以上）心拍信号が途切れた場合は、エラーとして 2 回ブザーが鳴り、測定前の画面に強制的に戻ります。

P1 ~ P12 プログラム

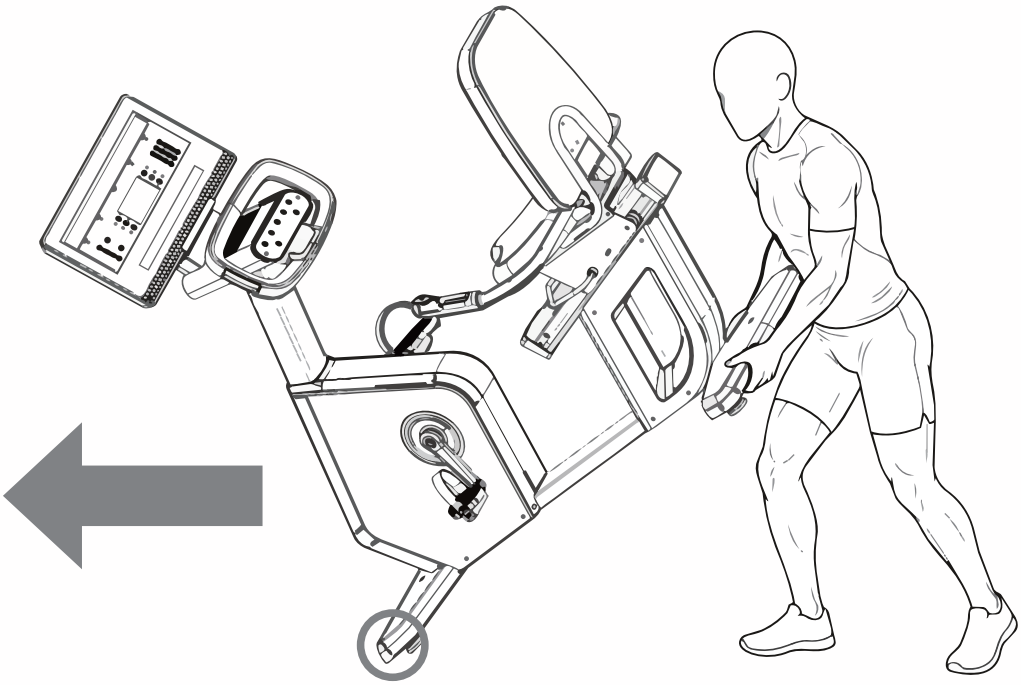
段階	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12
	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL
1	12	4	4	4	4	4	4	4	4	4	12	4
2	24	8	24	4	4	4	4	8	4	8	24	4
3	24	12	20	8	4	8	8	16	4	16	12	24
4	12	20	12	8	8	12	8	24	12	16	24	4
5	24	24	8	12	8	16	16	12	12	20	12	4
6	24	4	4	12	8	20	16	4	12	20	24	24
7	12	4	4	16	12	24	20	4	12	24	12	4
8	24	8	24	16	12	24	20	8	16	28	24	4
9	24	12	20	20	12	20	24	16	16	24	12	24
10	12	20	12	20	16	16	24	24	16	20	24	4
11	24	24	8	24	16	12	24	12	16	20	12	4
12	24	4	4	24	16	8	24	4	20	20	24	24
13	12	4	4	24	20	8	24	4	20	20	12	4
14	24	8	24	24	20	12	24	8	20	20	24	4
15	24	12	20	20	20	16	24	16	20	20	12	24
16	12	20	12	20	24	20	24	24	24	24	24	4
17	24	24	8	16	24	24	20	12	24	28	12	4
18	24	4	4	16	24	24	20	4	24	24	24	24
19	12	4	4	12	28	20	16	4	24	20	12	4
20	24	8	24	12	28	16	16	8	24	20	24	4
21	24	12	20	8	28	12	8	16	16	16	12	24
22	12	20	12	8	24	8	8	24	16	16	24	4
23	24	24	8	4	24	4	4	12	16	8	12	4
24	24	4	4	4	24	4	4	4	16	4	24	24
25	24	8	24	16	12	24	20	8	16	28	24	4
26	12	4	4	16	12	24	20	4	12	24	12	4
27	24	4	4	12	8	20	16	4	12	20	24	24
28	24	24	8	12	8	16	16	12	12	20	12	4
29	12	20	12	8	8	12	8	24	12	16	24	4
30	24	12	20	8	4	8	8	16	4	16	12	24
31	24	8	24	4	4	4	4	8	4	8	24	4
32	12	4	4	4	4	4	4	4	4	4	12	4

各段階の運動時間は設定時間÷ 32

マシンの移動方法

本機の移動を行う際は必ず床面が平坦であり障害物が周りにないことを確認してから行って下さい。
本機は重量がありますので、床に傷がつくことがございます。移動の際には敷物等をご用意下さい。
※危険ですので、2 人以上で行うことをおすすめいたします。

1. 電源を切ってください。
2. フロントスタンドのキャスターを支点にリアスタンドを持ち、上に持ち上げマシンを前後移動することができます。



故障かなと思ったら

症状	原因	処置
パネルが表示されない（点灯しない）	充電池が充電されていない	ペダルを漕いで充電してください
	接続コネクタがつながっていない	コネクタの接続を確認してください（組立方法を参照）
脈拍が出ない	接続コネクタがつながっていない	コネクタの接続を再度確認してください
	心拍センサーを握っていない	センサー部分を数秒握ってください
運動中に「コト」と同じところで異音がする	ペダルが緩んでいる	右左のペダルをそれぞれ一旦はずし、空回しをして異音がするかを確認してください。
グラグラする	床面が平らでない	設置場所をかえる アジャスターで調整する
ギシギシ音がする	各ボルト等が緩んでいる	緩んでいるボルト等を一旦外し、締め直す。
その他の不具合		販売店、メーカー等にご連絡してください。

※使用する前に各ボルトに緩みがないかを必ず点検してください。緩みがある状態で使用した場合、破損する可能性があります。

製品メンテナンス

■ 製品の美観を保つために、汚れや汗などは中性洗剤を薄めて含ませた布で拭き、その後乾いた布等でふき取って下さい。
■ 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないで下さい。
■ パネルの汚れや汗は、乾いた布で拭き取って下さい。
■ ペダルの緩みなど、マシン各部位のボルト類に緩みが無いか常にチェックして、正常を保って下さい。

消耗品のご購入

パーツのお求めや修理のご連絡は、大広株式会社までお問い合わせ下さい。

フリーダイヤル：　0120-25-1622
携帯電話・PHS：　03-5652-5056

受付時間：平日・午前 10 ～ 12 時 /13 ～ 17 時

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって無償修理することをお約束するものです。
この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品　　名	リカンベントバイク（業務用）DK-R12101
保証期間	ご購入日より１年間
ご購入日	年　　月　　日
お名前	
ご住所	〒
TEL	—　　—

(1)　取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
(2)　保証期間内に故障した場合は、本書（もしくは当社から発送した年月日を示す証票）をご提示下さい。
(3)　保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
- お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
- 本来の使用目的以外による故障及び損傷
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・使用環境にともなうサビ・塩害等による故障及び損傷
- 保管上の不備による故障及び損傷
- 不当な修理、改造による故障及び損傷
- 取付場所の床面の損傷
- 本保証書 の添付のないもの

(4)　使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
(5)　本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい 。
(6)　保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換します。
(7)　本保証書は日本国内のみ有効です。
(8)　修理品についての運賃、組み立て、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
(9)　本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。ただし、商品をお届けした際の配送伝票控や購入日が証明できるもの等がある場合はその限りではありません。
(10)　出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622
携帯電話・PHS：03-5652-5056
受付時間：平日 10 ～ 12 時／ 13 ～ 17 時

開発販売保守 **大広株式会社**
〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4 2F
TEL：03-5652-5056/FAX：03-5652-5078